

ふるさと教育 取組事例

学校名	浜田市立三隅小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
4	社会科	地域の伝統・文化と先人たち	浜田商業高校郷土芸能部
ねらい	地域で活動している高校生の方から話を聞いたり、衣装や道具の体験をしたりしながら石見神楽に親しむと共に、郷土の伝統・文化について理解し、大切にしていこうとする気持ちを育む。		
<p>1 取組の概要</p> <p>浜田市の伝統・文化「石見神楽」の体験学習として、三隅町出身の生徒が所属している浜田商業高校郷土芸能部の来校が実現した。岡見小学校との交流学习も兼ねて神楽鑑賞と衣装・道具・奏楽の体験活動を行った。</p>  <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>浜田の伝統芸能である石見神楽を高校生も取り組んでいることを知り、憧れや尊敬の気持ちを抱くと共に、より身近に神楽を感じてほしいと考えた。実際に演目を見たり、道具や衣装に触れたりする活動を通して、石見神楽に興味を持ち、ふるさとに対する愛着を深めたいと考えた</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>タブレットを使った調べ学習を取り入れ、石見神楽の歴史的背景や受け継がれてきているという事実を知ることにより、体験をより充実したものにし、自分たちでできそうなことを考えたりするきっかけにしたいと考えた。</p>  <p>3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等） (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)</p> <p>高校生が演目を披露しているところを身近に観た子ども達は、その迫力と舞や奏楽の素晴らしさに感動していた。また、高校生が郷土芸能の担い手として活躍している姿や、やさしく教える姿を通して、自分たちも大きくなったらそういう高校生や大人になりたいという思いをもつことができ、キャリア教育としてもよい体験になった。</p> <p>(学力育成の視点から)</p> <p>タブレットを使って石見神楽の歴史や意味、県内の出雲神楽との違い、演目の種類、道具の種類などについて調べ、紙にまとめていった。また、調べて分からなかったことについては高校生が来た時に質問をし、深めることができた。</p>  <p>4 課題や今後の展望</p> <p>普段、目にするところのある石見神楽のことを知ることができる活動だったため、子ども達の喜びは想像以上に大きかった。令和5年度以来に高校生に依頼をして活動をしたが、高校生にとってもよい機会となったようなので、毎年行う活動として定着できるものしていきたい。</p> 			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)